



こくろうよなご

第23号

2025年8月10日

発行責任者 倉下文明

編集 教宣部

つくろう職場に労働運動を！ ひろげよう闘いを 職場に、地域に、全国に！

心理的に安全なチーム！？

安全考動計画監視委員会開催

7月13日、地方本部事務所にて各機関書記長・職協代表の参加による「第2回安全考動計画監視委員会」を開催してきました。少し前に新聞紙上などで取り上げられた「JR西日本幹部によるパワハラ」問題など「風通しの良くない」職場の現状など報告されていました。

ハラスメントの温床？

今回、新聞紙上などで取り上げられたのは、2023年1月、大雪による列車の立ち往生により乗客が長時間車内に閉じ込められた事象に関して、本社の上級幹部が怒鳴り声をあげたり激しく叱責、パワハラの認定を受けたというものです。会社の掲げる「心理的に安全なチーム」とは、まさに逆行するものと言わざるを得ません。

この事象に関して、「参加者一人一人の職場状況に於いて、同種事象はないか」など、意見交換を行ってきまし。今回の会議では、過去に暴言を吐く管理者がいたものの、現在、職場でパワハラまがいの事が行われているという報告はありませんでした。その一方、気になったのは、「指導職含めて仕事の負荷が

かかりすぎて、疲れ果ててしまうのではないかと。シニア社員への負担も大きい」「駅などに見ていると皆が忙しそうに仕事をしている」「このようにストレスが蓄積しやすい環境こそが「ハラスメントの温床」となり、表面的には分かりづらい「いじめ・からかい」、あるいはきちんと仕事を教えてもらえない等、職場で立場が弱い人への風当たりが強くなったりしていないか懸念されることです。」

「心理的に安全な職場とは・・・について、しっかりと議論し、改善を求めている」と思っています。

数値化出来ないから

惨禍を繰り返すな！ 「折り鶴」に込めた願い！

8月3日、広島平和公園内の「原爆の子の像」近くに設けられているブースに、米子地方本部の組合員・家族が作成した「折り鶴」を捧げてきました。9時から、場所を変え「第53回国鉄原爆死没者慰霊式典」にも参列をさせて頂きました。原爆投下から今年で80年が経過をします。戦争当事者の皆さんの高齢化が進む中、原爆投下による惨劇や戦争の悲惨な記憶が風化し、侵略などの歴史を書き換えようとする動きすらあります。世界各地では今なお、戦争や紛争が絶えません。平和な世界を求めて、これからも出来る事を精一杯取り組みます。



旅客案内や途中駅での運転打ち切りの際、旅客の行き先を聞くよう指示が出るなど、運転士への負担が大きくなっていると言われている。一方、駅はと言え、結果、異変時の細やかな案内まで手が回らない、とりわけ、一人勤務の駅ではとても対応が出来ないと言われている。また、指令からの情報量の少なさも案内に支障をきたしていると言われている。したが、指令は指令で、社外への情報配信などこちらも大忙しというのが実情のようです。

また、各系統に社会人採用の方が多く配属されるようになっていますが、早々に離職をされる方も少なからずおられることから、離職を決断する背景などについても、調査し、改善を求めている。その他、車両職場から「要員不足で人手が足りない。熱中症対策で休みながらと言われている。休んでおられない」、電気職場からは「関連会社では作業中、カメラを使って撮影がされている。現場配属後、セクター、中国統括本部と移動するため住居が定まらない」など、報告されていました。

安全な職場かどうかは単純に数値で表すことが難しいため、こうした問題意識を持つて職場を点検したり、議論することが無ければ、気づかぬうちに「安全性も低下をしよう」ことを確認しながら会議を終えてきました。

参議院選挙の奮闘に感謝！！

7月3日告示、20日投票で、参議院選挙が施行されました。



米子地方本部が推薦した鳥取・島根の合区選挙区での「中山集」候補、そして、比例区における私鉄出身の「もりやたかし」候補については、残念ながら議席に手が届きませんでした。当選に向けて奮闘頂きました組合員・ご家族・退職者の会の皆様に心より、感謝を申し上げます。

さて、全体の選挙結果については、言うまでもありませんが、昨年の衆議院選挙に続いて自公与党が過半数を割り込み、国民民主党・参政党などが大きく議席を伸ばしました。

自民党の金権腐敗政治への怒りと同時に、物価高をはじめとする生活苦・年金などの将来不安の増大が、その背景にあるのではないのでしょうか。また、物価高対策を巡り、給付か減税かが大きな焦点ともなりましたが、私たちの生活が苦しいのは、そもそも何十年にわたって賃金が低く抑えられてきたからに他なりません。

大企業・金持ち優遇の政治こそ変えていかねばなりません。